

米子市の胃がん・大腸がん・肺がん検診を受けられる方へ

わが国のがんによる死亡の上位は、**胃がん・大腸がん・肺がん**。

がん検診の最大のメリットは、「早期発見・早期治療による死亡率の減少」です。早期であれば治る可能性が高く、身体への負担が少ない治療で済むことが多いです。また、がん以外の病気が見つかることもあり、ご自身の健康管理に役立てることができます。

ただし、すべてのがん検診には、「デメリット」があります。

- ・がんは、発生してから一定の大きさになるまで発見できません。また、検査で見つけにくいがんもありますので、すべてのがんが検診で見つかるわけではありません。
- ・がんでなくても「要精密」と判定されたり、放置しても死に至らないがんが見つかったために不必要な治療を受けなければならない場合もあります。

しかし、がん検診はこれらの低い確率で起こるデメリットよりも、がんで亡くなることを防ぐメリットが大きいことが証明されているため、必ず定期的に受診をお願いいたします。

症状がある場合は、検診を待たずに医療機関受診をおすすめします

【症状】

胃：胃の痛み、食欲不振、食事がつかえるなど

大腸：血便、腹痛、便の性状や回数の変化など

肺：血痰、長引く咳、胸痛、声のかれ、息切れなど

がん検診で、「要精密検査」となったら、必ず精密検査を受けましょう

精密検査方法は？

胃：胃内視鏡検査（胃カメラ）

大腸：全大腸内視鏡検査

肺：CT もしくは気管支鏡検査等

※検診は、自治体と各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は、関係機関で共有されます。

